

E10 東九州自動車道 臼杵 IC～津久見 IC 間の のり面災害に関する技術検討委員会 ～第 3 回技術検討委員会の開催について～

E10 東九州自動車道は、台風 10 号の大雨の影響により、8 月 29 日(木)に切土のり面の崩落が発生し、臼杵インターチェンジ(IC)～津久見IC 間で通行止めを継続しており、通行再開には期間を要する見込みです。(別紙 1)

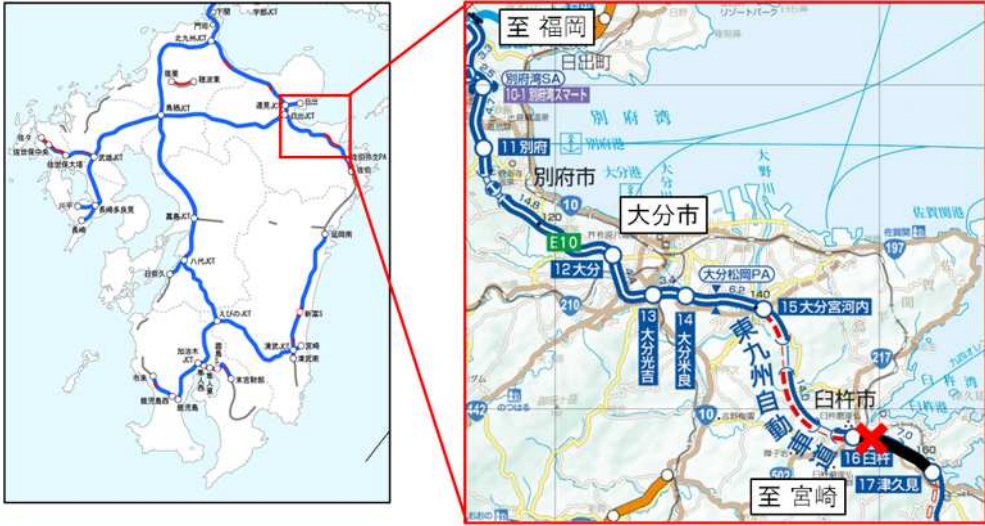
被災箇所の安全性の確認や復旧内容の検討のため、西日本高速道路株式会社は、有識者による「東九州自動車道 臼杵 IC～津久見 IC 間のり面災害に関する技術検討委員会」を 9 月 3 日(火)に立ち上げ、検討を行っているところです。

このたび、第 3 回の技術検討委員会を以下のとおり開催いたします。

1. 日 時 令和 6 年 10 月 12 日(土) 15:00～
2. 場 所 大分県臼杵市野田(災害復旧現場)
3. 委 員 別紙 2 のとおり
4. 議 事 通行止め解除に向けた、のり面復旧作業施工状況現場確認
5. その他
 - ・検討委員会は非公開で行います。
 - ・検討委員会開催後、検討結果を公表いたします。

E10 東九州自動車道 臼杵 IC～津久見 IC 間 切土のり面の崩落状況

E10 東九州自動車道
臼杵 IC～津久見 IC 間 切土のり面の崩落



— : 通行止め区間
X : 被災箇所

【復旧作業状況】



<10月8日(火) 9時時点>

東九州自動車道 臼杵IC～津久見IC間のり面災害に関する技術検討委員会

笠間 清伸 九州大学大学院 工学研究院 教授

工藤 宗治 大分工業高等専門学校 都市・環境工学科 准教授

○ 三谷 泰浩 九州大学大学院 工学研究院 教授

三保木 悦幸 国土交通省 九州地方整備局 道路部長

(○ 委員長)

(50音順、敬称略)